


専門研修「中堅保健師」

【日 時】	令和2年7月6日（月）9：00～17：00
【会 場】	特別区職員研修所
【受講者数】	46名
【講 師】	<ul style="list-style-type: none"> ・東京医科大学 医学部 看護学科 教授 鈴木 良美 氏 ・社会医療法人財団 仁医会 牧田総合病院 地域ささえあいセンター センター長 澤登 久雄 氏 ・神奈川県 鎌倉保健福祉事務所 保健福祉部 職員
【研修内容】	<p><目的></p> <p>住民主体の地域コミュニティづくりに向けて、中堅保健師に求められる住民視点で地域全体を捉えた政策提案能力・計画策定能力、組織横断的な調整・交渉力及び保健活動における事業企画や政策提案等に関する指導・助言等の実践能力の向上を図る。</p> <p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ① 地域診断から施策化へ ※ 研修内でスマートフォンを使用したアンケート等を実施 ② 住民主体の地域コミュニティづくり ③ 他職種との連携における保健師の役割 <div style="text-align: right;">  <p><講義の様子></p> </div>
【受講生の声】	<ul style="list-style-type: none"> ・普段仕事をしていると個別支援に走りがちですが、もっと大きな視野で仕事をしていくことの大切さ等、忘れていたことを思い出させてくれました。 ・アンケート等をスマートフォンで入力してすぐに共有できるのはとても良いと感じました。 ・最近は研修を受ける機会も少なくなっていますが、日々の業務を振り返るよい機会となりました。 ・いろいろな立場からの気づきをうまくキャッチして地域に繋げていきたいです。 ・窓口職場で日々多忙の中、専門職としての意識や保健師の役割について見失いかけている部分がありました。心を新たに、果たすべきことに取り組む意識を持ってました。 ・中堅保健師としての役割を意識しながら研修に参加することができました。 ・日々の業務に追われ、研修の場で日頃のモヤモヤを振り返ることができました。まだまだ、自身の課題だらけですが、同じように日々頑張っている同じ保健師が多くいることが分かったので、頑張る力をもらえました。